

報道発表資料
平成19年4月11日
九州地方整備局遠賀川河川事務所
福岡管区気象台

洪水予報の発表形式を改善します

平成19年4月19日から、国（遠賀川河川事務所と福岡管区気象台）が発表する洪水予報において、洪水の危険のレベルをわかりやすい表現に改善し、市町村や住民がとるべき避難行動等との関連がわかりやすいようにします。

遠賀川河川事務所と福岡管区気象台は、洪水予報を行う河川とその区間を指定し、洪水のおそれがある場合に共同で洪水予報を発表しています。

洪水等が発生した際、地域住民のよりの確で安全な避難実施のためには、河川の危険の状況等の防災情報が、迅速に伝達されるだけでなく、受け手や伝達者である住民や市町村の防災担当者、報道機関に正確に理解され、的確な判断や安全な行動につながる情報の内容や表現であることが極めて重要です。

このため、国土交通省河川局及び気象庁では、「洪水等に関する防災用語改善検討会」を設置し検討を行ってきましたが、昨年6月に検討委員会の提言が「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」としてとりまとめられ、これに基づき、「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」（平成18年10月1日国河情第3号河川局長通知）を定め、洪水予報の発表形式を改善することとしました。

今回の改善の主なポイントは以下のとおりです。【参考1～4参照】

1. 市町村や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように、洪水予報の標題と水位の名称を洪水の危険に応じてレベル化します。危険レベル毎の標題とそれに対応する水位等は以下のとおりです。

レベル5	標題：はん濫発生情報	状態：はん濫発生
レベル4	標題：はん濫危険情報	水位名称：はん濫危険水位
レベル3	標題：はん濫警戒情報	水位名称：避難判断水位
レベル2	標題：はん濫注意情報	水位名称：はん濫注意水位
レベル1	（発表はしない）	水位名称：水防団待機水位

2. 洪水予報の内容を理解しやすくするため、発表内容を要約した見出し文（40文字以内）を新たに付けます。

今回の改善は、遠賀川河川事務所及び福岡管区気象台が共同で発表する遠賀川、彦山川及び犬鳴川（参考5参照）を対象とする洪水予報については平成19年4月19日に実施します。

なお、同様の記者発表を福岡県土木部河川課と福岡管区気象台、筑後川河川事務所及び山国川河川事務所と連名で行っております。

問 い 合 わ せ 先	
遠賀川河川事務所調査課長	三浦 一浩（代表：0949(22)1830 内：351）
福岡管区気象台技術部予報課	北崎 康文（代表：092(725)3604 内327）

<発表先>

直方地区、田川地区、飯塚地区

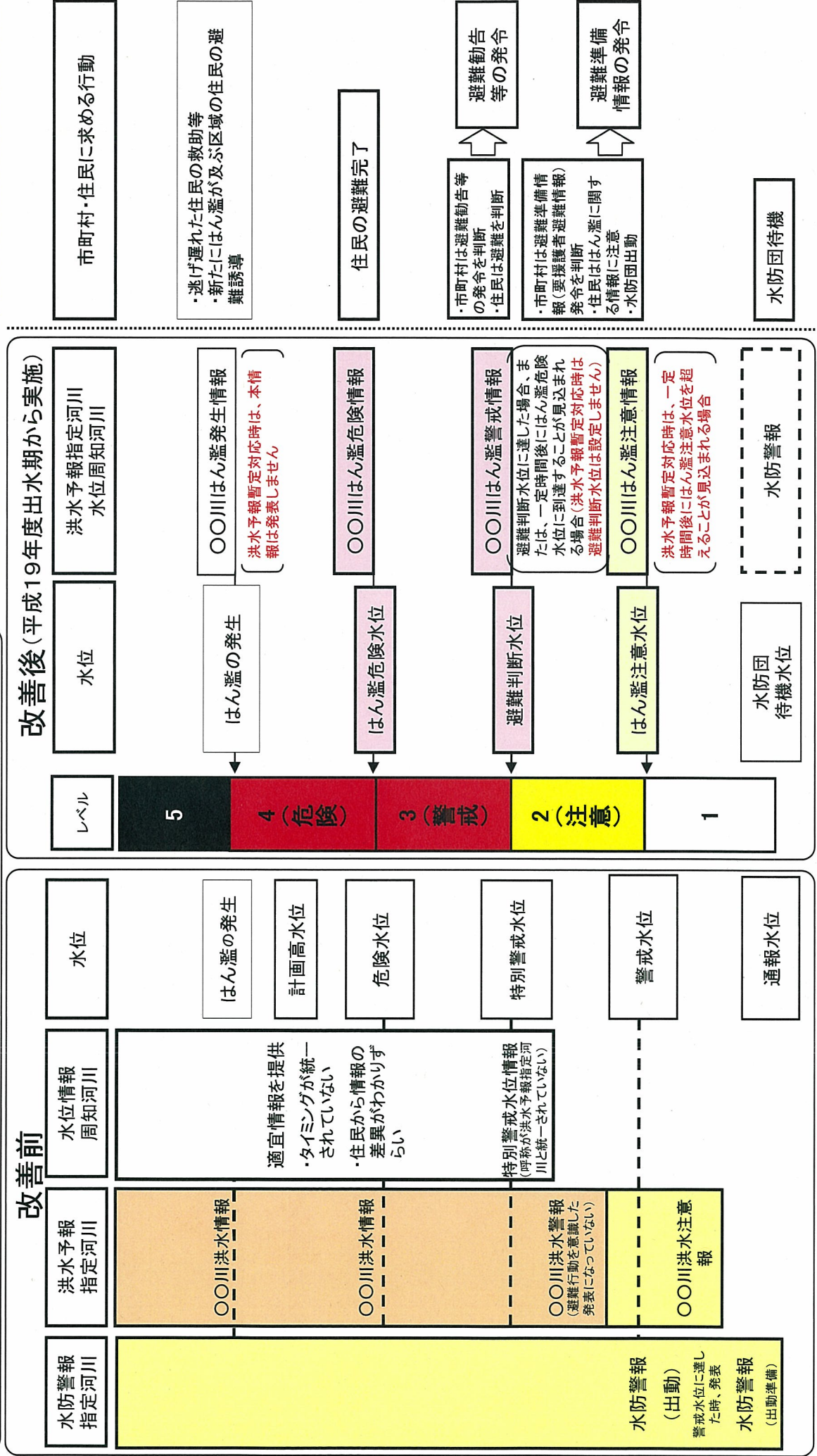
【参考 1】 洪水の危険のレベルに対応した表現等

洪水の危険のレベル	洪水予報の標題 [洪水予報の種類]	水位の名称	市町村・住民に求める行動等
レベル5 (注)	はん濫発生情報 [洪水警報]	(はん濫発生)	逃げ遅れた住民の救助等 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導
レベル4	はん濫危険情報 [洪水警報]	はん濫危険水位	住民の避難完了
レベル3	はん濫警戒情報 [洪水警報]	避難判断水位	市町村は避難勧告等の発令を判断 住民は避難を判断
レベル2	はん濫注意情報 [洪水注意報]	はん濫注意水位	市町村は避難準備情報(要援護者避難情報)発令を判断 住民ははん濫に関する情報に注意 水防団出動
レベル1	(発表なし)	水防団待機水位	水防団待機

洪水等に関する防災情報体系の見直しの概要

- ①大河川、中小河川を問わず発表する防災情報とそれに対応する水位を統一
- ②発表情報と避難行動等との関連を明確化
- ③水位名称を受け手のとるべき行動や危険度レベルがわかるものに改善

詳しくは、平成18年6月22日発表報道発表資料『「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」の提言について』を参照願います。
http://www.jma.go.jp/jma/press/0606/22a/kouzui_yougo_houkoku.htmlまたは
http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/05/050622_2_.html



※橋脚や量水標に危険レベルがわかるよう全国統一したカラー表示

現行

S川洪水予報 第〇号
平成〇年〇月〇日19時30分
〇〇河川事務所・〇〇気象台 共同発表

【種類】
S川洪水注意報発表

【主文】
S川のN市M地区S水位観測所では、警戒水位を超える出水となる見込みです。各地とも十分な注意をしてください。

【現況文】
停滞前線と台風〇号による降り始めの11日2時から11日19時までの、S川流域の流域平均雨量は、167ミリに達しました。S川の水位は11日19時現在、次のとおりになっています。
・S水位観測所〔N市M区N〕で3.5m程度(上昇中)

【予想文】
この雨は、今後一層強まるでしょう。11日19時から22時までのS川流域の流域平均雨量は、170ミリの見込みです。
S川の水位は、11日22時には次のように見込まれます。
S水位観測所〔N市M区N〕で4.8m程度

【参考資料】
S水位観測所〔N市M区N〕
堤防高8.4m、危険水位5.5m、警戒水位4.6m、平常水位1.26m

変更後

洪水予報の標題
(レベル化して表示)

S川はん濫注意情報

平成〇年〇月〇日20時30分
〇〇河川事務所・〇〇気象台 共同発表

S川 はん濫注意水位に到達 水位はさらに上昇するおそれ

【注文】
S川が増水し、はん濫注意水位(レベル2)に達し、水位はさらに上昇する見込みです。〇～△地区では身のまわりの物に注意してください。

【降雨と水位の現況】
停滞前線と台風〇号による降り始めの11日2時からS川の水位は、167ミリに達しました。S川の水位は、170ミリの見込みです。
・S水位観測所〔N市M区N〕で4.6m(水位危険度レベル2)(1時間に25cmの速さで上昇中)

【降雨と水位の予想】
この雨は、今後一層強まるでしょう。11日19時から22時までのS川流域の流域平均雨量は、170ミリの見込みです。
S川の水位は上昇傾向にあり、22時頃には、次のとおりに見込まれます。
・S水位観測所〔N市M区N〕で4.8m程度(水位危険度レベル2)

【参考】
S水位観測所
受け持ち区間 A県B市からA県C町(左岸) B県B市からB県C町(右岸)
はん濫危険水位5.5m、避難判断水位5.0m、はん濫注意水位(警戒水位)4.6m
水防団待機水位〇.〇m、平常水位1.26m
水位危険度レベル

- レベル5 はん濫の発生
- レベル4 はん濫危険水位超過
- レベル3 避難判断水位超過
- レベル2 はん濫注意水位(警戒水位)超過
- レベル1 水防団待機水位超過

水位レベルの記述



<変更のポイント>

- ・とるべき行動との関連が理解されやすいように標題と水位をレベル化
- ・洪水予報の内容が理解されやすいよう情報の見出しを付加
- ・その他用語の変更(赤字)



都道府県と気象庁が共同で実施する洪水予報文の暫定改善例

参考 4

現行

S川洪水予報 第〇号
平成〇年〇月〇日19時40分
〇〇県・〇〇気象台 共同発表

種類
S川洪水注意報発表

主文
S川 S水位観測所では、警戒水位を超える出水となる見込みですので、各地とも十分な注意をしてください。

現況と予想
S川流域の流域平均雨量
11日17時から11日19時までの現況67ミリ
11日19時から22時までの予想70ミリ
S水位観測所〔N市M区N〕の水位は
11日19時の現況 4.6m程度(上昇中)
11日22時の予想 4.9m程度

〔参考〕
S水位観測所〔N市M区N〕
堤防高8.4m、危険水位5.5m、警戒水位4.6m、平常水位1.26m

変更後

新規
洪水予報の標題
(レベル化して表示)

S川はん濫注意情報

S川洪水予報 第〇号
洪水注意報 (発表)
平成〇年〇月〇日19時40分
〇〇県・〇〇気象台 共同発表

主文
S川の S水位観測所では、警戒水位を超える出水となる見込みですので、各地とも十分な注意をしてください。

現況と予想
S川流域の流域平均雨量
11日17時から11日19時までの現況67ミリ
11日19時から22時までの予想70ミリ
S水位観測所〔N市M区N〕の水位は
11日19時の現況 4.6m程度(上昇中)
11日22時の予想 4.9m程度

〔参考〕
S水位観測所〔N市M区N〕
堤防高8.4m、危険水位5.5m、警戒水位4.6m、平常水位1.26m

<変更のポイント>

- ・とるべき行動との関連が理解されやすいように標題をレベル化

「見出し文」及び「水位の名称」の改善については、国土交通省と気象庁が共同で実施する洪水予報と同様の形式で準備が整った河川から順次実施します。

<参考 5>各河川の水位及び担当事務所一覧

河川名	観測所名	水位 (m)			担当事務所
		はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位	
遠賀川	川 島	3.60	4.70	5.40	国土交通省 遠賀川河川事務所
	日の出橋	5.90	7.10	7.70	
	中 間	3.70	5.00	5.40	
彦山川	伊 田	2.80	3.60	4.00	
犬鳴川	宮田橋	5.50	5.70	5.90	

【水位の情報に関する問合せ先】

《国土交通省》

遠賀川河川事務所調査課

電話 0949-22-1830